

働きがいある職場をつくるためにJR労働者が力をあわせ 職場から運動をつくりだそう!



新潟地方本部
第6回定期地方委員会

新潟地本は2月22日、新潟東映ホテルにおいて第6回定期地方委員会を開催しました。大会以降職場から創り出した運動の成果と課題を明確にし、2020春闘の満額回答獲得に向けた取り組みをはじめ第8回定期大会までの方針を全参加者で確認しました。

JR労働者の利益を守るため 職場から運動を創りだそう

新潟地方本部 星山執行委員長あいさつ

新型コロナウイルスについて、日々刻々と状況が悪化しているなか、今委員会の開催規模を縮小する判断をした。何より組合員、御家族の健康、命を第一に判断した。

不特定多数のお客さまを相手とする仕事であり、会社は会社で対策を出す、私たちは現場で働く労働者の視点から問題に対し声を上げていかなければならない。本部は申22号で申し入れを行った。現場において疑問やおかしいことがあれば声をあげていこう。



昨年7月の地本大会において組織拡大を課題に掲げ取り組み、新たな仲間に加わっていただいた。加入のハードルを下げる提起もしたが、私たち自身の内面や感情に潜むハードルが無い、更に議論と実践を重ねていこう。

2020春闘における東日本ユニオンの要求が第7回定期中央委員会で決定された。労働側の力の分散が更に進んでしまっている。要求を掲げ、その実現のためにたたかう労働運動を残していこう。変革2027に基づく

会社提案に対し一つひとつ現場の目線で問題を把握し要求に高め、解決に向けて取り組んできた。変革とチャレンジ、夢と希望を叶えて欲しいと願い、細かいことは現場に丸投げで進めようとする経営側に歯止めをかけるには労働側の力が必要だ。力をつける春闘にしよう。またそのスタートとしよう。

離職者が多く発生している職場もあり、労働組合が受け皿になり切れていない悔しさを感じている。不安を抱えたままの業務は安全やサービスの問題に直結する。JR東日本で働く者のためになる運動を職場から全組合員でつくりだそう。そのためには東日本ユニオンの更なる拡大を実現しよう。

13名の地方委員が 職場での実践を発言

質疑では「春闘勝利に向けた職場の取り組み」「過半数代表選挙について」「エルダー社員制度の問題点」「職場の将来展望」「標準数を割り込む中で超過勤務の問題」「クレジットカードシステム障害での課題」「架線凍結に対する取り組み」など、職場で発生した問題解決に向けた運動の教訓や進め方について中々発生した悩みなどが発言されました。愚直に運動を進めた結果新たな仲間の加入など

びゅうプラザの業務運営体制の見直しに対し 2項目にわたり第2次申し入れを提出

新潟地本は昨年12月18日に申3号「システムチェンジ・コストダウン計画」びゅうプラザの業務運営体制の見直しに対する申し入れの団体交渉を行いました。

びゅうプラザ店舗の経営移管・廃止を提案しつつも、その理由や今後の展望が具体的に示されることなく、職場からはいまだに不安の声が寄せられています。

交渉で支社側も認めているように、お客さまに対するサービスの低下に対する懸念も払拭できない中、お客さま第一、地域密着を経営の基本とするJR東日本として、お客さまのニーズに応えきれない提案であるといえます。

また、交渉において明らかになった、びゅうプラザ新潟駅の標準数に対する現社員数の乖離は、これまで数次にわたって業務運営体制を見直し、その都度組織の強化を全体で確認することができました。

2019年度下期の活動方針案や2020年度暫定予算(案)など、全ての議案は満場一致で承認されました。JR労働者の利益を守り、勝ち取るために職場からたたかいは創り出しましょう。



新潟地本は2月7日、申15号として、2019年度「システムチェンジ・コストダウン計画」びゅうプラザの業務運営体制の見直しに対する第2次申し入れを提出しました。

■申15号申し入れ項目

1. びゅうプラザ長岡駅の店舗跡地を活用して出札窓口にもマルスを1台増やし、大人の休日倶楽部ジパング倶楽部の優先窓口とする。
2. びゅうプラザ新潟駅の標準数と現社員数の乖離について経過及び理由を明らかにするとともに、標準数で運営すること。

ワマン拡大に関し前広な情報提供を求める

新潟地本は2月3日、申10号・新潟支社におけるワマン運転の拡大に関する申し入れ、及び申12号・新潟支社におけるワマン運転の拡大に関する第2次申し入れの団体交渉を行いました。

昨年7月に本部・本社間で開催された団体交渉において、短編成・中編成・長編成ワマンとの新しい考え方に基づき、線区・区間を限定せずワマン運転を実施するとの提案を受けています。

交渉では新潟支社における実施時期や線区、方法等について質しました。支社側は「成案になり次第」と回答しました。